

事務事業名		総合交流ターミナル維持管理事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業																														
政策体系	政策名	01 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間																															
	施策名	03 にぎわいあふれる商業・観光の推進		区分																															
	基本事業名	03 観光宣伝の充実		単年度繰返																															
根拠法令		-		※期間欄に開始年度を記入																															
所属	部課名	農林水産部農林課		【開始年度】																															
	課長名	大和田 達也		平成9 年度～																															
	係名	農政係	電話 0192-27-3111	事務事業区分																															
	担当者	吉田 真央	内線 347			C 施設管理																													
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																															
<ul style="list-style-type: none"> <li>・当市は「椿の里」として椿をキャッチフレーズとしたまちづくりが進められており、椿を中心に花を題材とした交流施設の整備として総合交流ターミナル施設(世界の椿館・基石)が整備された。</li> <li>・地域の有利な気象条件を活かした花きの生産振興を図るとともに、同地区内の基石海岸と併せて、都市圏からの観光客の集客の向上を目的としている。</li> <li>・当事業は、「世界の椿館・基石」の運営維持管理、入館料及び使用料の徴収・保管管理事務を大船渡市農業協同組合に指定管理業務として依頼する事業である。</li> <li>・指定管理料、及び指定管理費用に含まれない火災保険料、賃借料、その他施設整備に係る費用を支払いする。</li> </ul>				<table border="1"> <tr><td>総投入量</td><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>事業費</td><td>都道府県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>財源内訳</td><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>一般財源</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>事業費計(A)</td><td>0</td></tr> <tr><td>人件費</td><td>正規職員従事人数</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>延べ業務時間</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>人件費計(B)</td><td>0</td></tr> <tr><td></td><td>トータルコスト(A)+(B)</td><td>0</td></tr> </table>		総投入量	国庫支出金		事業費	都道府県支出金		財源内訳	地方債			その他			一般財源			事業費計(A)	0	人件費	正規職員従事人数			延べ業務時間			人件費計(B)	0		トータルコスト(A)+(B)	0
総投入量	国庫支出金																																		
事業費	都道府県支出金																																		
財源内訳	地方債																																		
	その他																																		
	一般財源																																		
	事業費計(A)	0																																	
人件費	正規職員従事人数																																		
	延べ業務時間																																		
	人件費計(B)	0																																	
	トータルコスト(A)+(B)	0																																	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		
前年度実績(前年度に行った主な活動)	名称	単位	
・大船渡市農業協同組合に入館料及び使用料の徴収・保管管理事務の指定管理(人件費、施設管理費、花き維持管理費、車両維持管理費、光熱水費等)	ア	指定管理対象施設の協定締結数	件
・施設の質向上を図る改善整備	イ	指定管理の更新事務	件
今年度計画(今年度に計画している主な活動)	ウ		
・大船渡市農業協同組合に入館料及び使用料の徴収・保管管理事務の指定管理	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)		
・施設の質向上を図る改善整備	カ	市の費用負担により、毎年繰り返される施設の維持管理に係る業務数	件
・施設の指定管理者募集業務	キ	市の費用負担による施設不具合の対応等に係る不定期な業務委託件数	件
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	ク		
大船渡市農業協同組合	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		
・維持管理施設面積 4,179.1㎡	サ	来場者数	人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	シ	入館料	千円
施設の適正な管理を行い、多くの方に入館してもらう。	ス		
(火災・自動車共済、敷地借上げ、機器借上げ)			
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
大船渡市を訪れてもらう。			

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度						
				2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0		
		地方債	千円	16,400	0	0	0	0		
		その他	千円	2,805	2,879	4,178	2,940	3,000	3,000	
		一般財源	千円	52,624	23,113	24,251	21,332	19,000	19,000	
	人件費	事業費計(A)	千円	71,829	25,992	28,429	24,272	22,000	22,000	
		正規職員従事人数	人	2	2	1	3	1	1	
		延べ業務時間	時間	200	300	250	320	200	200	
		人件費計(B)	千円	800	1,200	1,000	1,280	800	800	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	72,629	27,192	29,429	25,552	22,800	22,800	
⑤活動指標	ア	件	1	1	1	1	2	1		
	イ	件	-	-	-	1	-	-		
	ウ									
⑥対象指標	カ	件	4	4	4	4	4	4		
	キ	件	2	1	1	0	0	0		
	ク									
⑦成果指標	サ	人	9,315	10,955	15,416	10,000	10,000	10,000		
	シ	千円	2,805	2,879	4,178	2,940	3,000	3,000		
	ス									

事務事業ID	0529	事務事業名	総合交流ターミナル維持管理事業
--------	------	-------	-----------------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	「椿の里」として椿をキャッチフレーズとしたまちづくりが進められており、平成9年度に椿を中心に花を題材とした交流施設の整備として当施設が建設された。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開館当初に比べると入場者は減少傾向にあり、特に椿の非開花時期の集客対策を講じている状況にある。(GW中の無料開館、寄せ植え体験教室、花つこinおおふなど(～R元年まで)、さつき展(現在休止)の開催等)</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の関連で、施設入場者数や入館料収入は、激減した。</li> <li>・建物は建設から相当年数が経過し、雨漏りなどの経年変化に伴う不具合が発生しており、随時対応している。</li> </ul>
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・椿が開花していない時期の入館料無料化を望む意見がある。</li> <li>・開館以降一度も入館料の見直しをしていないことから、値上げを検討するべきとの意見がある。</li> </ul>

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由・内容
	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつか？意図することが結果に結びついているか？	市は昭和58年に椿を市の花に制定し、それ以来「椿の里」づくりを推進している。市の花である椿をはじめとした花きに接する機会を増やすことにより、大船渡市のイメージシンボルとして「椿」が位置づけられるようになることによって、観光客が増大し、地域資源を活用した観光の振興が図られる。	
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由・内容
なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	大船渡市の観光のシンボルとして「椿」を定着させることによって、観光地としての大船渡をPRすることができ、観光産業だけでなく、花き生産地として複合的に振興を図ることができる。		
有効性 評価	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由・内容
	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	大船渡市農業協同組合が施設を適正に管理できるようになること、椿館が魅力ある施設となること、利用者が施設をたくさん利用できるようになることが、それぞれ対象及び意図であることから、対象と意図は適切である。	
	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由・内容
成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	非開花時期のイベント開催やつばきまつりの旅行会社等への早期PRなどができないので、成果の向上余地はない。		
効率性 評価	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由・内容
	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	基石の観光スポットが減少するため、観光地としての魅力が低下する。基石海岸の冬場の重要な観光スポットであり、事業の廃止、休止は不適当。委託先は花き栽培等の専門性を有することが必要(農協への委託は妥当)。	
	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由・内容
成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	事業費は施設の指定管理料と維持管理費が中心となっているため、事業費削減は施設の質を低下させることにつながり、事業費の削減は適当でない。		
公平性 評価	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由・内容
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げるにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	入館料を指定管理者である大船渡市農業協同組合の収入とし、また、施設修繕に係る経費を指定管理料に含めていないため、指定管理者の裁量余地がないことなどから、業務時間を削減できない。	
	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由・内容
事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	受益者(入場者)から入場料を徴収している。入場料の額(通常一般個人500円・シーズンオフ一般個人200円)は適切であり、受益者負担は適正である。		

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																		
1 現状維持	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×	現状どおり、継続して事業を実施する。全体的に施設の経年劣化が発生しているため、改修工事を行う必要がある。これに伴い、入館料や施設使用料により、収入を確保する必要がある。
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持	●	×																	
	低下	×	×																	
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。(現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」)(終了・廃止・休止の場合は記入不要)																				

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持	施設の長寿命化のため計画的な改修が必要であるほか、指定管理者と連携し、来館者の増加策の検討が必要。